

まちのニュース

TOWNS NEWS

全国の頂点を目指し

1 / 23 教育委員会教育長室



平成23年度全国中学校体育大会(スケート・スキー)に出場する町内の生徒10人が教育委員会を訪れ、大会へ向けて決意を語りました。出場するのは、高木淳里さん(幕別中)、加藤隼太さん(札内中)、笠原あかりさん(同)、三輪奈那子さん(同)、森祐輔さん(札東中)、能戸若菜さん(同)、松浦純奈さん(同)、高橋凌さん(忠類中)、石黒奈那さん(同)、齋藤友貴さん(同)

の計10人です。生徒たちは「悔いの残らないよう一生懸命頑張ります」などと決意を述べ、金子教育長は「自信を持って臨んでください」と激励しました。

百寿の祝いに

1 / 24 特別養護老人ホーム 札内寮

鎌田トヨさんと故中村ヤイ子さんの百歳を祝う会が札内寮で開かれ、町から記念品などが贈られました。この日は、家族をはじめ、札内寮の友人など多くの方が二人の長寿をお祝いしました。(2月8日、中村ヤイ子さんがご逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。)



▲鎌田トヨさん(左)と故中村ヤイ子さん(右)

初の全道！活躍誓う

1 / 26 教育委員会教育長室

フットサルの十勝大会で優勝し、初の全道大会へ出場する白人サッカー少年団ととかち帯広なでしこFCに選出され、全国なでしこ大会に出場する西村笑理菜さん(白人小・6年)が訪れました。児童らは「全道優勝目指し頑張る」など教育長に決意を述べました。



両 マスコットが大活躍

1 / 28・29 札内東コミュニティセンター

冬の子ども会宿泊交流研修会が開かれ、小学校4～6年生50人が参加しました。

コミセン前で行われた餅つきでは、子ども会育成連絡協議会札内支部のマスコット「マロッキー」と町のマスコット「パオくん」が参加し、子どもたちを喜ばせていました。



元五輪選手から学ぶ

1 / 30 白人小学校スケートリンク

NPO法人幕別札内スポーツクラブの事業の一環として、元五輪代表の土井模悟さんが、6年生の体育の授業でスピードスケートを指導しました。上手に滑るためのアドバイスや模範滑走などを披露しました。児童らは「参考になりました」と話していました。

30周年を記念して

2 / 4 百年記念ホール

町の国際交流協会が創立30周年の記念事業として馬頭琴のコンサートを開催しました。

「国際交流の推進に努めたい」という多田会長のあいさつで始まり、馬頭琴奏者チ・ブルグットさんが、モンゴル民謡であるジュレスなどを演奏し、会場から大きな拍手が送られました。



引き継がれる思い

2 / 11 農業者トレーニングセンター

町の剣道連盟が創立50周年の記念事業として記念紅白試合や祝賀会を開催し、小学生から大人まで約50人が参加しました。原会長は「一生懸命な良い試合を見せてほしい」と話していました。剣道連盟の関係者らは、これまでの歴史を振り返り、語り合っていました。

目指せ！自己ベスト

1 / 31 忠類小学校スケートリンク

小学校・忠類地域合同スケート記録会が開催され、多くの子どもたちが参加しました。

子どもたちは、練習の成果を見せるべく、一生懸命滑走していました。

その姿に保護者や地域の方々からも熱い声援が送られていました。



忠類地区の振興を

2 / 1 忠類ふれあいセンター福寿

忠類地域住民会議の加藤茂樹委員長は、忠類地区の振興策などを盛り込んだ提言書を町に提出しました。主な内容として、道の駅周辺の観光施設の充実や地域の魅力を知ってもらうための検定制度、観光特派員の導入、特産のユリ根のブランド化、定住促進などを提言しています。

かわいい踊りに拍手

2 / 4 忠類保育所

忠類保育所の発表会が行われ、子どもたちのかわいらしいお遊戯などに大きな拍手が送られました。

発表会に向けて子どもたちは、何週間も前から練習し、歌やお遊戯など元気いっぱいの姿をお父さんやお母さんなどに披露しました。



世代を超えた交流の場

11月～3月 ナウマン温泉アルコ236

現在、ナウマン温泉アルコ236では、お話をしながら編み物を楽しむ、ニットカフェが開催されています。

小学生からお年寄りまで世代を越え多くの方が参加し、お茶を飲みながら一緒に編物を楽しんでいました。

忠類ナウマン全道そり大会を特集



自慢のそりが大集結
段ボールで作られた自作のそりで雪面を滑走する「第29回忠類ナウマン全道そり大会」が2月19日、忠類白銀台スキー場特設会場で開催されました。ユニークさや演技を競う「パフォーマンス部門」など計3部門に113人が参加し、趣向を凝らしたさまざまなそりに大勢の観客から声援が送られていました。

